

## 【お金の話】

### 葬祭費用を準備できる保険 書類到着の翌日払いも 畠中 雅子

2010年8月26日

今週取り上げるのは、人生の最期を見据えた“葬儀保険”。紹介する二社の商品は、いずれも一年更新の死亡保険です。

まずは、NP少額短期保険の「葬祭費用あんしんプラン」。この保険では、入院治療中でなければ、診査や告知なしで七十九歳まで加入でき、九十九歳まで更新可能です。保険金は一口三十万円で、三口九十万円まで加入OK。

保険料例は、保険金額三十万円の一口目は、五十歳～五十九歳の人が年間六千円、六十歳～六十九歳の人は年間七千円、七十歳～七十九歳の人は年間一万二千円になっています。二口入ると年間六千円、三口入ると年間九千円の保険料割引があります。

保険金は、請求書類が届いた翌日に支払われるので、葬儀費用や香典返しなどの費用として使えます。

二社目は、ベル少額短期保険の「千の風」。千の風は八十歳まで加入でき、九十八歳まで更新が可能です。加入の際、被保険者の健康状態などについて、同社側への告知が必要。

保障内容としては、保険料は変わらず、年齢とともに保険金額が減る「保険料一定タイプ」、保険金額は一定で、保険料がアップしていく「保険金定額タイプ」、保険金額五十万円の「シルバープラン」の三タイプがあります。

例えば「保険料一定タイプ」で、一カ月三千円を支払うコースの場合、五十歳～六十九歳の人の保険金額は百五十万円。七十歳～七十二歳の人では百二十万円。七十三歳と七十四歳の人では百万円になります。保険金を葬儀費用に充てられるだけでなく、葬儀社の紹介もしてくれます。(ファイナンシャルプランナー)